

「加賀市統合新病院建設事業」
設計施工一括発注・公募型プロポーザル
審査基準

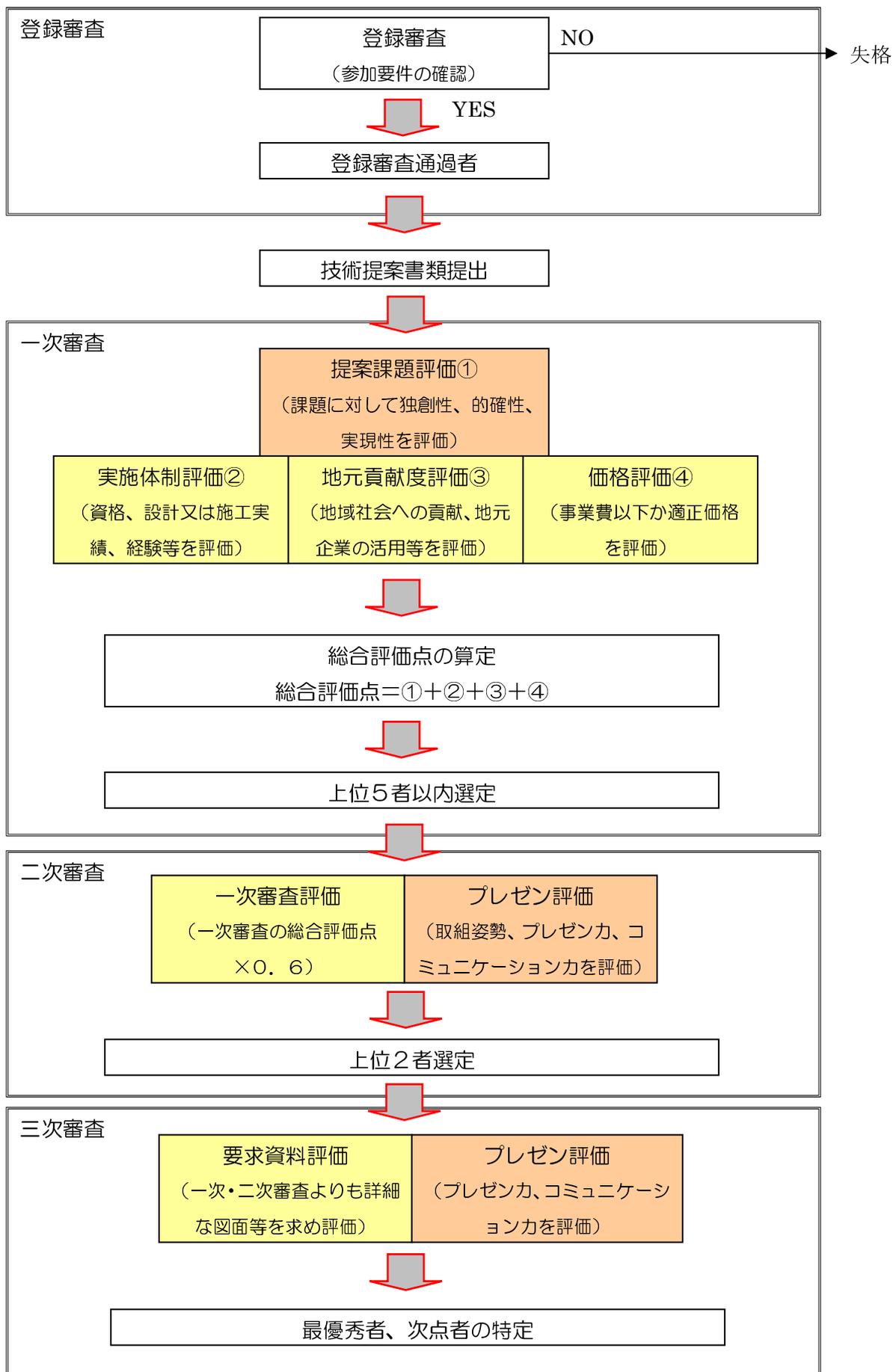
平成 24 年 10 月

加 賀 市

目次

1. 審査フロー	1
1-1. 採点方法について	
2. 一次審査	3
2-1. 技術提案書評価	
2-2. 実施体制評価	
2-3. 地元貢献度評価	
2-4. 提案価格評価	
2-5. 総合評価点が同一になった場合	
3. 二次審査	10
3-1. プレゼンテーション評価	
4. 三次審査	11
4-1. 技術提案書評価	
4-2. 総合評価点が同一になった場合	

1. 審査フロー



1-1. 採点方法について

各選考委員の得点を集計し、平均化した得点を評価点とする。平均方法については小数第2位を四捨五入の上、算出する。

ただし、審査の公平性を期すため、選考委員と提案者の関係において、選考委員が提案者を評価することに対して適切ではないと認められる場合は、技術提案、プレゼンテーション及びヒアリングの点数について、当該選考委員を除いた平均点数を評価点とする。

2. 一次審査

登録審査を通過した者について、提案課題に対する提案書、実施体制、提案価格、地元貢献度について加賀市統合新病院建設事業者選考委員会において審査する。一次審査評価は、下記の計算の合計で評価する。

$$\begin{aligned} \text{一次審査評価点 (120点)} &= \text{実施体制評価点 (25点)} + \text{提案価格評価点 (10点)} \\ &+ \text{地元貢献度評価点 (10点)} + \text{技術提案書評価点 (75点)} \end{aligned}$$

2-1. 技術提案書評価

(1) 技術提案書の評価事項 (配点 75 点×評価係数)

提出された技術提案書に対して「**業務の理解度**」「**的確性** (与条件との整合性がとれているか等)」「**独創性** (将来を見据えた独創的な提案がされているか等)」「**実現性** (提案内容が理論的に裏づけられており、説得力のある提案になっているか等)」を考慮して総合的に評価する。

評価事項		配点
1	本事業の取組み体制	9
2	建設予定地の特性を踏まえた建築計画	12
3	快適で機能的な空間を実現するための計画	12
4	安全を確保するための方策	12
5	ライフサイクルコストの縮減策	12
6	新病院に必要と思われる自由な提案	18
合 計		75

(2) 技術提案課題評価方法

① 技術提案課題 1～6 は、下記の評価基準により評価する。

評価	評価基準	評価係数
A	優良	1.0
B	良好	0.8
C	やや良好	0.6
D	普通	0.4
E	不十分	0

② 技術提案課題 6 の評価方法

「加賀市医療提供体制基本構想」「加賀市統合新病院建設基本計画」にない新しい発想、他の技術提案課題にない視点で実現性の高いものに対して評価する。なお、自由な提案でないと認められる場合又他の技術提案課題と重複している場合は評価しない。

2-2. 実施体制評価

(1) 実施体制評価 (配点 25 点)

提出された企業及び配置予定技術者に対して評価する。

評価項目		評価事項	配点 (25点)		
企業	設計	一般病床300床以上の病院新築又は増築の実 施設計完了実績	2	6	
		免震構造物実施設計完了実績	1		
	建設	一般病床300床以上の病院新築又は増築の実 施設計完了実績	2		
		免震構造物施工完了実績	1		
配置 予定 技術 者	管理技術者		資格	—	2
			実績	2	
	主任技術者	建築意匠担当	資格	—	2
			実績	2	
		建築構造担当	資格	1	2
			実績	1	
		電気設備担当	資格	1	2
			実績	1	
	機械設備担当	資格	1	2	
		実績	1		
	工事監理担当	資格	—	1	
		実績	1		
	監理技術者		資格	1	2
			実績	1	
	現場代理人		資格	1	2
			実績	1	
電気設備工事担当		資格	1	2	
		実績	1		
機械設備工事担当		資格	1	2	
		実績	1		

① 企業実績評価（配点6点）

ア 平成14年度以後、日本国内において元請として、一般病床300床以上の病院の新築又は増改築の実設計業務又は施工を完了した実績（配点各2点×評価係数）

設計及び施工実績数	評価係数
4件以上	1.0
3件	0.8
2件以下	0.6

イ 平成14年度以後、日本国内において元請として、免震構造建築物の実設計業務又は施工を完了した実績。（配点各1点×評価係数）

設計及び施工実績数	評価係数
4件以上	1.0
3件	0.8
2件以下	0.6

② 管理技術者実績評価（配点2点×評価係数）

平成14年度以後、日本国内において、一般病床300床以上の病院の新築又は増築の実設計を完了した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

③ 各主任技術者資格評価（配点1点×評価係数）

専門分野	評価する技術者の資格	評価係数
構造	構造設計一級建築士	1.0
	一級建築士	0.8
機械設備 電気設備	設備設計一級建築士	1.0
	一級建築士又は建築設備士	0.8

④ 監理技術者、現場代理人資格評価（配点1点×評価係数）

専門分野	評価する技術者の資格	評価係数
工事監理	一級建築士	1.0
	一級建築施工管理技士	0.8

⑤ 電気及び機械設備工事担当者資格評価（配点1点×評価係数）

専門分野	評価する技術者の資格	評価係数
電気設備工事	設備設計一級建築士	1.0
機械設備工事	一級電気（管）施工管理技士	0.8

⑥ 各主任技術者（工事監理を除く）実績評価（配点1点（意匠担当2点）×評価係数）
平成14年度以後、病院の新築又は増改築工事の実施設計業務を完了した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

⑦ 工事監理主任技術者実績評価（配点1点×評価係数）

平成14年度以後、日本国内において、一般病床300床以上の病院の新築又は増築の実施設計を完了した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

⑧ 監理技術者実績評価（配点1点×評価係数）

平成14年度以後、日本国内において、一般病床300床以上の病院の新築又は増築工事を監理技術者の立場で1年以上従事した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

⑨ 現場代理人実績評価（配点1点×評価係数）

平成14年度以後、日本国内において、病院の新築又は増築工事を現場代理人の立場で1年以上従事した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

⑩ 電気及び機械設備工事担当者実績評価（配点1点×評価係数）

平成14年度以後、日本国内において、病院の新築又は増改築工事を電気（機械）設備工事担当者の立場で従事した実績

業務実績数	評価係数
3件以上	1.0
2件	0.8
1件	0.6

2-3. 地元貢献度評価

地元貢献度評価は次の項目について評価を行う。（配点10点）

(1) 加賀市との災害協定参加意思の有無（配点1点）

加賀市との災害協定に参加の意思があるか。

参加の有無	評価係数
有	1.0
無	0

(2) 加賀市内の技能士等の活用の有無（配点2点）

以下の計算方法により算出した値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで）を評価点とする。技能士活用の有無=2点×（提案された技能士の人数/技能士採用人数が最大）

(3) 地元企業活用について（配点6点）

以下の計算方法により算出した値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで）を評価点とする。地元企業活用度=6点×（提案された金額/地元企業発注金額*が最大）

※ 発注予定金額は、加賀市内に本店又は本社を置く企業への発注予定金額とする。

地元企業発注金額=①+②+③

- ① 地元企業への発注工事予定金額
- ② 地元企業からの建設資材調達予定金額
- ③ 地元企業からの物品等の購入予定金額

(4) 竣工引渡し後の地元企業を活用したメンテナンス体制（配点1点）

竣工引渡し後、新病院の維持保全を行うため、地元企業又は技術者等を指導・育成し、メンテナンス体制を構築する計画はあるか。

計画の有無	評価係数
有	1.0
無	0

2-4. 提案価格評価

提案された価格は、以下の計算方法により算出した値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで）を評価点とする。（配点 10 点）

$$\text{提案価格評価} = 10 \text{ 点} \times (\text{最低価格}^*/\text{提案された価格})$$

※ 技術提案書提出者のうち、最も低く提案された価格をいう。

2-5. 総合評価点が同一になった場合

総合評価点が同一になった場合は、以下の方法により順位付けを行う。

- ① 技術提案書評価の高い者とする。
- ② 価格評価の高い者とする。

上記①②も同点の場合には、各々が二次審査へ進むことができる。

3. 二次審査

一次審査を通過者について、提案課題に対する提案書のプレゼンテーション及びヒアリングを行う。二次審査評価は、下記の計算の合計で評価する。

二次審査評価点（100点）＝一次審査評価点×0.6（72点）＋プレゼン評価点（28点）

3-1. プレゼンテーション評価

（1）二次審査項目及び配点（配点×評価係数）

評価項目		評価事項	配点
プレゼンテーション ヒアリング	取組姿勢、コミュニケーション力	取組姿勢が強く感じられるか 質問に対して回答が明快で、かつ迅速か	8
	提案内容、プレゼンテーション力	技術提案書書類の説明、内容・表現を補足するための追加説明が実現性、的確性、創造性があるか	20
一次審査評価点×0.6			72
合 計			100

（2）二次審査の評価は、下記の評価基準により評価する。

評価	評価基準	評価係数
A	優良	1.0
B	良好	0.8
C	やや良好	0.6
D	普通	0.4
E	不十分	0

4. 三次審査

二次審査を通過者について、一次審査より詳細な図面等及びプレゼンテーション及びヒアリングを行う。三次審査評価は、下記の計算の合計で評価する。なお、課題については通知なく追加もしくは変更する場合がある。

三次審査評価点 (100 点)

4-1. 技術提案書評価

(1) 三次審査の評価事項 (配点×評価係数)

提出された技術提案書に対して「**業務の理解度**」「**的確性** (与条件との整合性がとれているか等)」「**独創性** (将来を見据えた独創的な提案がされているか等)」「**実現性** (提案内容が理論的に裏づけられており、説得力のある提案になっているか等)」を考慮して総合的に評価する。

		評価事項		配点
		ること	全体に関する	
技術提案 ヒアリング 審査	ること	全体に関する	<ul style="list-style-type: none"> 設計業務、建設業務、移転業務の全体工程が効率的な提案となっているか。 	10
	設計に関すること	建築計画	<ul style="list-style-type: none"> 各部門の所要室数は適切か。 業務の効率化、動線の短縮化に配慮した部門配置・階層構成となっているか。 	40
		病棟計画	<ul style="list-style-type: none"> 患者の療養環境や病院スタッフの動線の短縮化に配慮した病棟計画となっているか。 	
		構造計画	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時においても医療継続ができ、将来の医療変化にも対応できる計画となっているか。 	
		設備計画	<ul style="list-style-type: none"> 経済的で信頼性、耐久性が高く、メンテナンスが容易な計画となっているか。 	
		安全計画	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全や院内感染に対して十分な対策がされているか。 災害時の安全確保及び、診療機能維持できる計画となっているか。 	
	こと	施工に関する	<ul style="list-style-type: none"> 無事故、無災害を達成するために十分な対策を講じているか。 騒音・振動・粉塵等に配慮されているか。 建設廃棄物の再資源化に積極的か。 施工品質の確保のための具体的な方策が示されているか。 	40
関すること	維持管理に	<ul style="list-style-type: none"> 竣工後の的確な中長期保全計画及び修繕計画が示され、地元企業を生かしたメンテナンス体制となっているか。 	10	
合 計				100

(2) 三次審査の評価は、下記の評価基準により評価する。

評価	評価基準	評価係数
A	優良	1.0
B	良好	0.8
C	やや良好	0.6
D	普通	0.4
E	不十分	0

4-2. 総合評価点が同一になった場合

総合評価点が同一になった場合は、二次審査を上位で通過したものを最優秀者とする。